

●各商品個別の注意事項は、各商品ごとの「正しくお使いください」をご覧ください。

安全上の要点

●感電について

- ・通電中のリレー端子部(充電部)およびソケットの端子部(充電部)には触らないでください。感電の原因となります。

●配線について

- ・配線作業を行う場合には必ず電源を切った状態で行ってください。また、通電中はカバーを閉じた状態とし端子部には触れないようにしてください。
- ・入力用端子には規定の電圧を正しく印加してください。誤った電圧を印加されますと規定の機能が発揮されず、製品自体の破損・焼損の原因となります。

●リレータイプの場合

- ・開閉容量(接点電圧、接点電流)などの接点定格値を超える負荷に対しては絶対に使用しないでください。絶縁不良、接点の溶着、接触不良など、規定の性能を損なうばかりでなく、リレー自体の破損・焼損の原因となります。
- ・リレーの耐久性は開閉条件により大きく異なります。リレーの使用にあたっては必ず実使用条件にて実機確認を行い、性能上問題のない開閉回数内にてご使用ください。性能の劣化した状態で引き続きご使用されますと最終的には、回路間の絶縁破壊やリレー自体の焼損などの原因となります。
- ・引火性ガス・爆発性ガスなどの雰囲気では使用しないでください。開閉にともなうアークやリレーの発熱などにより、発火または爆発を引き起こす恐れがあります。

●無接点出力(トランジスタタイプ、パワー MOS FET リレータイプ、SSRタイプの場合)

- ・定格出力電流を超える負荷に対しては絶対に使用しないでください。出力素子の破壊によりショート故障またはオープン故障の原因となります。
- ・直流誘導負荷に使用される場合、必ず逆起電圧対策のダイオードを接続してください。逆起電圧により出力素子が破壊され、ショート故障またはオープン故障の原因となります。

使用上の注意

●リレーの交換について

- ・電源を入れたままでのリレーの脱着はしないでください。感電や誤動作の原因となります。
- ・リレーの交換の際は、ねじ端子の隅にあります黄色の取りはずし具をご利用ください。(形G70D-SOC16/FOM16)
- ・リレーの挿入は脚が曲がらないよう垂直に差し込んでください。確実に入っていないと、誤動作・発熱の原因となります。

●配線について

- ・端子の極性、伝送路と電源の配線およびI/O渡し時の電圧仕様は正しく行ってください。間違われた場合、故障の原因となります。
- ・電源を入れた状態でのコネクタの脱着は誤動作の原因となりますので避けてください。

●接続ケーブルのロックについて

- ・通電前に各種接続ケーブルのコネクタ部のロックがされていることを確認してください。

●設置場所について

故障や誤動作の原因となりますので、下記の場所には設置しないでください。

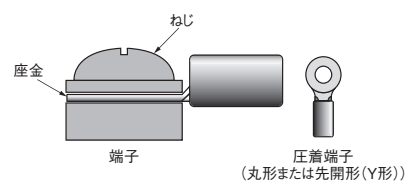
- ・直射日光が当たる場所。
- ・周囲温度が0～55℃の範囲を超える場所。
(形G70D-Vは-25～+55℃)
- ・相対湿度が10～90%の範囲を超える場所、温度変化が急激で結露するような場所。(形G70D-Vは45～85%)
- ・腐食性ガスや可燃性ガスのある場所。
- ・じん埃、塩分、鉄粉が多い場所。
- ・本体に直接振動や衝撃が伝わる場所。
- ・水、油、薬品などの飛沫がある場所。

●取り付けねじの締めつけについて

各種ユニットの取り付けねじは、誤動作などの原因にならないように規定のトルクにて締めつけてください。

ねじ締めが不十分だと、リード線や圧着端子が外れたり、接触不良により、異常発熱または発火の原因となります。

- ・端子ねじの締めつけトルク
0.78～1.18N・m
- ・パネルなどに直接ねじ止めする場合
0.59～0.98N・m
- ・リレーブロック固定ねじの締めつけトルク(形G70D-Vのみ)
0.78～1.18N・m
- ・丸形または先開形(Y形)圧着端子を使用する場合、座金、圧着端子、端子が平行で密着するように取り付けてください。



●清掃について

- ・シンナー類は装置表面を溶かしたり、変色させたりしますので絶対に使用しないでください。

●取り扱いについて

- ・製品を落下させたり、異常な振動を加えないでください。故障や誤動作の原因となります。

●分解について

- ・分解したり修理・改造は行わないでください。正常な動作の妨げとなり、感電などの危険を伴う場合があります。